

普通のアオリイカと赤い巨大アオリイカ

次長 上田幸男

Key word ; アオリイカ, シロイカ型, アカイカ型, 徳島県, 紀伊水道外域

アオリイカは赤道付近を中心に亜熱帯および温帯域まで世界に広く分布する南方系のイカです。遺伝的な解析から日本沿岸にはシロイカ型(写真 1 左), アカイカ型(写真 1 右)およびクワイカ型の遺伝的性質が異なる 3 種のアオリイカが生息していることが分かっています(Izuka *et al.* 1996)。3 種の種名と標準和名が命名されていないため, 便宜的にアオリイカ *Sepioteuthis lessoniana* のシロイカ型, アカイカ型, 及びクワイカ型と呼ばれています。言い換えればどの型のアオリイカが学名の『*Sepioteuthis lessoniana*』と標準和名の『アオリイカ』を名乗ることができるのか, 定まっていない状況にあります。世界各地に生息するアオリイカの遺伝や形態的研究が進み, 種が再整理されれば, 3 種の学名や和名が命名される日が来ると思います。このうち徳島県にも 2 種類のアオリイカが生息していることを皆様はご存知でしょうか。大部分が「普通のアオリイカ」シロイカ型ですが, ごくわずかにアカイカ型が漁獲されます。形が酷似しているので両者を見分けることは難しいようです。

平成 22 年 6 月 1 日の徳島新聞朝刊においても本県過去最大体重 3.8kg の巨大アオリイカが漁獲されたと報道されました。記事の写真と大きさからおそらくアカイカ型と思います。これまで私が計測した 3 万個体のアオリイカの中で, 最大体重は 3.9kg(写真 2)のアカイカ型でしたから, 体重として記録された 2 番目の大きさかもしれません。



写真 1 左 : 2008 年 2 月 19 日牟岐産シロイカ型♂外套長 28cm, 右 : 2009 年 11 月 26 日牟岐産アカイカ型♀外套長 26cm(海洋生産技術担当 和田隆史撮影)。いずれも活け〆を行い, 色素胞が収縮した状態である。シロイカ型では全体に透明感が強いがアカイカ型では全体に赤と黄色の色素が強い。



写真 2 2001 年 3 月 23 日に牟岐町漁協に水揚げされた巨大なアカイカ型，♂，外套長 50.1cm，体重 3.9kg。写真 1 左のシロイカ型に較べて全体的に赤いのが特徴。

アカイカ型(AKAIKA-type)の特徴

徳島県日本本土に分布するアオリイカの大部分はシロイカ型です。雄は最大 3kg，雌は最大 1.5kg 程度になります。日本全土の沿岸に普通に分布します。一方アカイカ型については沖縄から九州五島，四国徳島，小笠原及び伊豆で分布が確認されています。最大で体重が 5～6kg になると言われます。沖縄では水深 100m の海域で産卵を確認しています(上田未発表)。アオリイカの色素胞は茶色，赤色および黄色の 3 色から構成されますが，アカイカ型は赤の色素胞が多く，外観がシロイカ型に比べて赤いのが特徴です。アカイカ型の方が全般に大型化し，大きさの割に肉が薄く，やや細身のようなです。アカイカ型とシロイカ型の分布水深は重なりますが，アカイカ型の方がやや沖合に分布する傾向があります。

アカイカ資源が眠る可能性

私が 2008 年に訪ねた種子島では柴漬けを敷設した水深 50m 前後の海域で体重 1～6kg の巨大なアカイカ型のみを釣り上げます。釣られたイカは地元で消費され，本土以上に高価に取引されます。一部は写真 3 のように丁寧に鱈をたたみ冷凍パックされ，空港や土産物店で販売されています。

本県では水深 20m 以浅で定置網や釣りで主にシロイカ型が漁獲され，稀に浅場に迷い込んだアカイカ型が漁獲される程度です。種子島のように 50m を超える深場での操業していないため，

漁師さんがアカイカ型の存在に気付いていないのかもしれませんが、もちろん、アカイカ型が九州南方から徳島の海へ回遊してきた可能性も否定はできませんが。



写真 3 2008 年 10 月 8 日に種子島空港でみかけたアカイカ型アオリイカの刺身用冷凍パッケージ。

アカイカ型は地球温暖化の指標

アカイカ型は主に沖縄や奄美で漁獲の対象となっていますが、九州以北でのまとまった漁獲があるという報告は現在のところありません。このことからアカイカ型はシロイカ型より南方に生息しており、地球温暖化や高水温化の指標になると考えられます。日本本土では 1996 年に初めて本県でアカイカ型が確認されましたが(Izuka *et al.* 1996), 将来本県海域で頻繁にみかけるようになるかもしれません。

参考文献

Izuka, T., Segawa, S. and Okutani, T.: Biochemical study of the population heterogeneity and distribution of the oval squid *Sepioteuthis lessoniana* complex in southwestern Japan. *Amer. Malac. Bull.*, 12, 129-135(1996).